

Characteristics and challenges of psychotherapy for people with diabetes through an overview of overseas case studies

海外の事例研究の概観を通じた、糖尿病患者への心理療法の特徴と課題

千葉友里香 帝塚山学院大学

本研究は、糖尿病患者への心理療法に関する海外の事例研究を概観することで、糖尿病患者への心理療法の特徴を捉えること、糖尿病患者への心理療法に関する事例研究の今後の課題を示すことを目的とした。対象となった45の論文を、内容をもとに分類した結果、4つのグループに分けられた。グループ1は、糖尿病と他の疾患・障害との関係が扱われている研究であり、糖尿病と摂食障害との併発について論じられている研究が多く見られた。グループ2は、心理療法の有効性について示している研究であり、バイオフィードバック療法やCBTが多く取り上げられていた。グループ3は心理療法のプロセスに焦点を当てている研究であり、幼少期からの体験や家族関係を含めたクライアントの心の力動的理解がなされていた。グループ4は、糖尿病患者と周囲の人との関係を扱った研究であり、糖尿病患者の家族へのケアや医療チームの関わりについて論じられている研究であった。糖尿病患者への心理的ケアを発展させていくため、今後も各領域において研究が進められることが望まれる。

キーワード: 糖尿病, 心理療法, 事例研究, 概観